

木住協 30周年事業 木造循環型住宅供給体制整備第4回WG 議事録

日 時：平成26年10月2日（月）10：00～11：30

場 所：内野設計万代町事務所

参加者：久保、多田（住宅課）、後藤（木の家づくり協会）、
山田（徳島県木の家地域協議会）、内野（建築士会）

○発表骨子

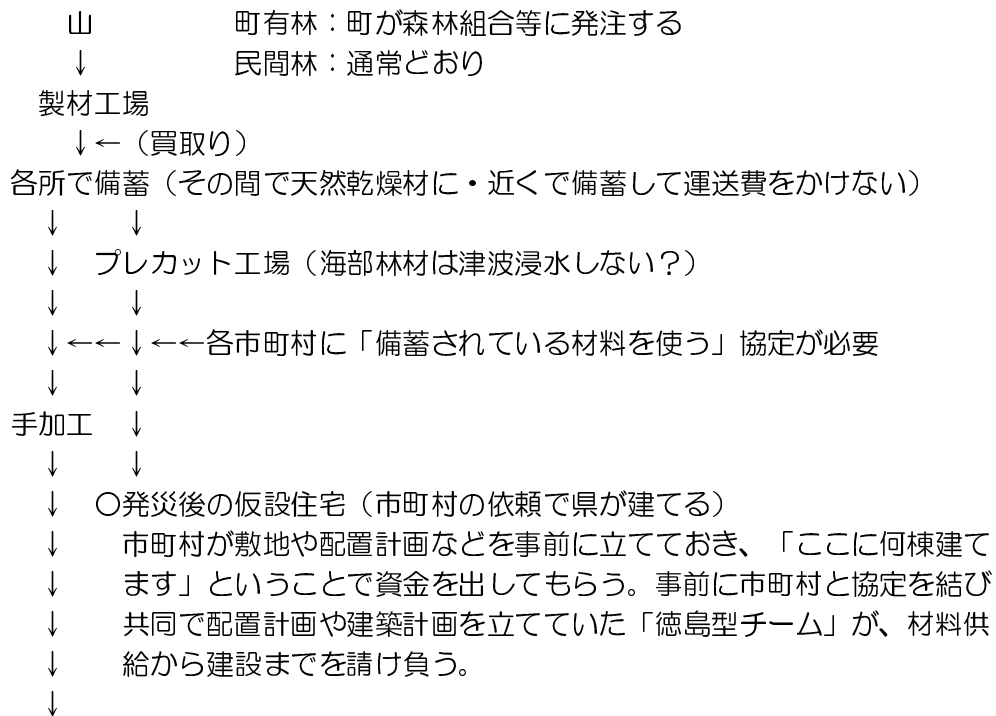
- ・徳島県仮設住宅マニュアル他（内野）

プレ協・全木協は、県との協定締結済み。市町村の以来で県が建てる。

「徳島型」は、市町村と協定を結んで、市町村が県へ依頼して資金は県から。事前に自治体ごとに配置計画や建築計画をしておいて、発災したら、「ここに何戸建てる」と、具体的に示せる準備を。建設は材料供給も含め「徳島型チーム」で行う。

→市町村がコアとなった「徳島型チーム」結成へ、まずは美波町で協議する。

- ・備蓄へ（後藤）



○事前復興住宅

仮設住宅試行や先行高地移転試行等の「小規模木造建築」（用途提案も行う）を、各市町村で例えば年間5棟を2箇所→10棟を建設する。プレカットしか知らない大工さんの手刻み研修の場（予算、工期考慮）
→美波町で試行してみる

- ・大工さん育成への接続（山田）

「ひと・まち・しごと創生」への提案？→別紙

○その他

- ・次回 10/14（木）10：00～ @建築士会会議室
30周年委員会と合同で。